

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月8日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902546		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホーム 春光		
所在地	北海道旭川市春光5条6丁目 (電話) 0166-59-0802		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月6日	評価確定日	平成21年3月9日

【情報提供票より】(平成21年2月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 18年 2月 21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤 7人, 非常勤 7人, 常勤換算	7.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2 階建ての	～ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000 円	その他の経費(月額)	18,800～26,800 円
敷 金	有(32,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 70 円
	または1日当たり 1,270 円		

(4) 利用者の概要(2月12日現在)

利用者人数		9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護 1		0	名	要介護 2	3	名
要介護 3		1	名	要介護 4	4	名
要介護 5		1	名	要支援 2		
年齢	平均	84 歳	最低	70 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医) フクダ 旭川メディハイルペインクリニック・いまみや歯科
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

春光介護支援館に認知症対応デイサービス、高齢者マンションが併設された中にある母体の医療法人が運営する1ユニットのグループホームです。毎月担当職員から利用者毎に「お手紙」で日常生活の様子や健康状態、食事の摂取状況、印象に残った言葉など写真付きで家族に報告され信頼関係の醸成が行われ喜ばれています。また、緊急時に速やかに対応が出来るように避難訓練が昼間年2回、夜間を想定して年3回実施するなど訓練が行われています。町内会に加入して、花火大会などの行事参加、デイサービス利用者とジギスカンや餅つき、敬老会を共にしながら地域の人々との交流、大正琴などボランティアの受け入れなど地域との連携にも取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、運営推進会議での具体的取り組みについて課題が挙げられていましたが、町内会婦人部の見学会開催やボランティア協力の申し出など具体的に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全ての職員が参加して毎朝ミーティングで1項目ずつ話し合い3ヶ月を要して実践されケアサービスの質の向上に利用されています。また、継続して自己評価が行われ職員の新たな気付きと研修への意欲に繋がっています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、定期的実施され主な議題は ①グループホームの活動内容について ②インフルエンザ予防接種について ③町内会よりボランティアの申し出について ④町内会婦人部の見学について ⑤障害者福祉制度について
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪時に家族との意見交換や不安への対応、日常生活の様子や健康状態など話し合いが行われ意見・苦情等言い表せる機会を設けています。また、運営推進会議では、ホームの活動報告や運営、地域との連携などについての話し合いが行われ運営に反映される取り組みが行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会加入で花火大会や夏祭り等の行事参加、子供達との花火大会参加等地域との交流が行われています。また、町内会婦人部の見学会や町内会ボランティアの協力申し出、併設されるデイサービスとの交流や行事の開催など日常生活を通じて認知症に対する広報や啓発に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、ケア理念を職員で話し合い独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎朝の引継ぎで理念を唱和してその実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で花火大会や夏祭り等の行事参加、子供達との花火大会参加等地域との交流が行われている。また、町内会婦人部の見学会や町内会ボランティアの協力申し出、併設されるデイサービスとの交流や行事の開催など日常生活を通じて認知症に対する広報や啓発に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して毎朝ミーティングで1項目ずつ話し合い3ヶ月を要して実践されケアサービスの質の向上に利用されている。また、継続して自己評価が行われ職員の新たな気付きと研修への意欲に繋がっている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所及び管理者は、市担当者との連携の重要性については十分理解している。また、市主催の研修や講習会には積極的に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、その出納を毎月報告している。また、毎月 担当職員から利用者毎に「お手紙」で日常生活の様子や健康状態、食事の摂取状況、印象に残った言葉など写真付きで家族に報告され信頼関係の醸成が行われ喜ばれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に家族との意見交換や不安への対応、日常の生活の様子や健康状態など話し合いが行われ意見・苦情等言い表せる機会を設けています。また、入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、共用空間には、顔写真付きで掲示板に職員の紹介がされている。また、離職の際などには利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同一法人のグループホーム3施設がそれぞれユニット毎で研究発表会を実施している。また、母体法人の内部研修も充実していて看護・介護の研修で職員のスキルアップに取り組んでいる。	○	特筆すべき点として、事例研究発表会が継続的に実践され、職員のサービスの質の向上に活かされている。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会で他施設との意見交換や交流、同一法人の施設と研修会や発表会が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	○	今後は、さらに他施設との相互訪問などの交流を促進されることを期待します。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、できるかぎり入居前には、本人、家族が見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、食事の準備や散歩など一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。また、センター方式が浸透している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用して、散歩や買い物、入浴など一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式を採用して、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買い物、職員が髪のカット、外食など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について方針が明確化され、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、ミーティングで職員の研修を実施している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、散歩や買物、ファミリーレストランでの外食、絵や花の世話などの趣味への支援など本人の希望に沿った生活が送れるように支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、味付けや盛り付け、配膳の準備、食器ふき等職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら調理や盛り付け、配膳の準備や日記書き、散歩や買い物、外気浴や外食など気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	弁当持参での外出レク、公園でのおやつ、紅葉狩りや外気浴、公園散歩など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。また、内玄関には、鈴の音などで外出が察知できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	昼間の火災避難訓練が2回、夜間を想定した避難訓練が3回実施され緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように取り組まれている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるメニューが作成され、具体的な食事や水分の摂取量、栄養バランスなど個々に応じた対応がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。共用空間は、広く採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っていて、車椅子で自由に移動できるスペースも確保されている。また広い窓やベランダからは、公園などの近隣の風景や木々の新緑や紅葉が眺められ季節感が味わえたり、畑や花壇が見られ開放感がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や家族の写真、手作りの人形や習字の作品が飾られ本人が安心して過ごせる場となっている。また、夫婦で入居している利用者も居て広い作りとなっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。